

- 問1 メソポタミア文明において、太陰暦や楔形文字といった文化が発達した地理的な背景として、適切な説明はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。
 2. 広大な黄河流域において、天の意思を占うための記録媒体として粘土が最も入手しやすかったため。
 3. ナイル川が毎年決まった時期に氾濫するため、その時期を正確に把握するための測量術や暦が必要となったため。
 4. インダス川流域のような計画的な都市構造を持たなかったため、個別の住宅で排水を管理する必要があったため。
- 問2 紀元前3世紀、中国を初めて統一した王朝について述べたものとして正しいものはどれか。この王朝は、北方の遊牧民族の侵入を防ぐために万里の長城を築き、国内の経済や統治を円滑にするため、貨幣や度量衡（長さ・重さなどの単位）を統一したことで知られている。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 殷
 2. 周
 3. 漢
 4. 秦
- 問3 アフリカ大陸の地図を確認すると、経線と緯線を利用した直線的な国境線が多く見られます。このような国境線が画定された歴史的背景と、その後の影響について述べた文として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。
 2. 民族自決の原則に基づき、アフリカの各民族が話し合いを通じて、公平に資源を分配できるよう直線の境界線を定めた。
 3. 広大な砂漠や熱帯雨林において、山脈や河川などの自然の地形を正確に境界線として利用した結果、直線的な国境となった。
 4. 第二次世界大戦後に独立を達成した際、レアメタルの産出地域を周辺国で共有するために、国際連合が新たに引き直した。
- 問4 パチカンのサン・ピエトロ大聖堂の歴史的背景について記されたレポートにおいて、11世紀末から開始されたキリスト教徒による大規模な軍事遠征の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. キリスト教の教義に反する考えを持つ人々を裁判にかけ、信仰の純粋性を守ること
 2. 教会による免罪符（贖宥状）の販売に抗議し、聖書の教えに基づく信仰を確立すること
 3. イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと
 4. シルクロードを通じた東洋との交易を独占し、新しい航路を確保すること
- 問5 紀元前1600年ごろに成立した中国の殷の都の跡からは、亀の甲羅や動物の骨に鋭い線で刻まれた原始的な文字が数多く出土しています。この文字が使用された主な目的として正しいものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 民衆に対して国家の法律や道徳を広く周知するための布告文
 2. 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録
 3. 支配者の功績を後世に伝えるために青銅器の表面に鑄込むための装飾
 4. 周辺諸国との交易を行う際の品目や数量を管理するための事務処理
- 問6 古代中国の歴史に関する記述のうち、当時の政治の仕組みと文字の関わりについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 殷王朝の王は占いの結果を亀の甲羅などに刻ませ、その神意に基づいて政治を行った。
 2. 漢の時代に紙が発明されたことで、それまで骨に刻まれていた文字はすべて廃止された。
 3. 周の時代には、青銅器に刻まれた文字が占いの道具として一般庶民の間に普及した。
 4. 秦の始皇帝は、各地でバラバラだった甲骨文字を統一し、中央集権体制を整えた。
- 問7 イタリア半島中部に位置する都市国家から発展し、紀元前6世紀末に貴族を中心とした「共和制」が成立した後、紀元前1世紀には地中海の全域を統一する巨大な帝国へと成長した国家の名前を答えなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. アテネ
 2. 長安
 3. バビロン
 4. ローマ
- 問8 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはらん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法
 2. 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦
 3. 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦
 4. 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字
- 問9 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
 2. 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた
 3. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
 4. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
- 問10 紀元前3世紀、戦国時代の中国を初めて統一した人物は、北方の遊牧民の侵入を防ぐためにそれまでの防壁を連結・整備しました。この人物として正しいものを次の中から選びなさい。 (2024年 京都府公立入試 類似)
1. 秦の始皇帝
 2. フビライ・ハン
 3. 西郷隆盛
 4. 孔子
- 問11 紀元前5世紀頃の古代ギリシャの都市国家アテネにおいて確立された、市民が国政の重要事項を直接話し合って決定する政治体制を何と呼びますか。また、その意思決定を行う場の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
1. 貴族政を行い、元老院で決定した
 2. 間接民主政を行い、議会で決定した
 3. 直接民主政を行い、民会で決定した
 4. 独裁政治を行い、広場で決定した
- 問12 世界の四大文明は、アフリカのナイル川、南アジアのインダス川、東アジアの黄河や長江といった大河の流域で成立しました。これらの文明が大河の周辺で発展した理由について、当時の社会の仕組みの観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 大河は他民族の侵入を完全に防ぐ天然の壁となり、軍隊を持つ必要がなくなったことで文化の研究に専念できたから。
 2. 大河の周辺には、ピラミッドや巨大な城壁などの石造建築物を作るために必要な良質の石材が、世界で唯一豊富に存在したから。
 3. 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめて上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。
 4. 河川の急流を利用した水車によってエネルギーを確保し、それをを用いて青銅器や鉄器を大量生産する工業化に成功したから。
- 問13 アジアに位置する二つの文明について、南アジアのインダス川流域で栄えた文明と、東アジアの黄河・長江流域で栄えた文明における、それぞれの特徴的な遺物や記述の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. インダス川流域では太陽暦に基づいた農事暦が、黄河・長江流域ではインダス文字を用いた印章が見られる。
 2. インダス川流域ではパピルスに記された死者の書が、黄河・長江流域では青銅器を用いた仏像が見られる。
 3. インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。
 4. インダス川流域ではくさび形文字を記した粘土板が、黄河・長江流域ではハムラビ法典を記した石柱が見られる。